

山手台中だより ～希望に燃えて～



2026 年 7 月 1 号

「警察官になるために」

僕は、今やっている柔道をいかして将来、警察官になりたいです。
僕の祖父が昔、警察官をしていました。その姿を見てすごかったいいと思ったからです。
警察官になるにはどのようにしていけばいいか、よく知りませんが、**まず今やれることを精いっぱいやりたいと思います。それは勉強と体力づくりです。**警察官が武道をしている人が多いことは知っています。
市民を守るため、そして犯人をつかめるために必要なのだと思います。柔道を通して、技術と精神を鍛えていこうと思います。
継続は力なりと言いますが、苦しくても毎日、努力して頑張りたいです。勉強の方はあまり好きではありませんが、基本的な知識や技能は身につけなければならないと思います。
これから勉強も部活も精いっぱいやっていきたいです。
神戸新聞 朝刊 若者 Box (2026 年 7 月 2 日) より
中学生 14 歳

この文章は新聞の投書欄に載っていた記事です。ちょうど皆さんと同じ年頃の中学生が書いた文章なので、皆さんも感じる事が多いのではないのでしょうか？
皆さんの中にはこの中学生と同じように将来の夢を持っている人、まだ夢は見つからない人など、人によって様々だと思います。

授業や行事、部活動といった**様々な体験、様々な人との出会いがきっかけで将来の夢や目標が見つかることもあります。(中学2年生のトライやるウィークがきっかけで、将来就きたい仕事を見つかる人もいます。)**

中学校3年生になると、卒業後の進路を考えなければなりません。義務教育終了後の進路は様々です。例えば、卒業後に高等学校に進学するとしても、私立か国公立かを考えなければなりません。また、普通科(中学校までのように各教科をまんべんなく学ぶ)にするか専門学科(理科や工業など専門分野を中心に学ぶ)にするかも検討が必要です。

この際に、**将来の夢がある人は少しでも夢の実現に繋がる学校を選択することが可能になります。**(手先が器用でものづくりが楽しい。将来電気関係の仕事に就きたいと思う場合、工業高校や高等専門学校に進学し、その後大学の工学部へ進学するのも一つの方法です。)

「私は夢がない、それでは進路選択はどうすれば良いの…」と思う人もいるかも知れませんが、そんなに焦らなくても大丈夫です。なぜなら、私の経験上、中学生段階で将来の夢がないという生徒をたくさん見てきたからです。しかし、ここで頭に置いて欲しいことは、この中学生の文章にあるように**「まず、今やれることを精一杯やる」ことが大切です。**それは、勉強であれ体力づくりであれ、コツコツ継続することで、確実に自分の力になります。そうして**身に付けた力は、将来の夢が見つかった時に必ず役立ちます。(身に付けた力が夢の実現に繋がります。)**

ぜひ、**山手台中学校の皆さんにも、今できることに精いっぱい取り組んで欲しいと願っています。**

校長 筒井 啓介

■活躍する山手台中生

山手台中学校の部活動、個人(学校外部の活動)が各種大会で表彰を受けていますので、下記に紹介させていただきます。

「宝塚市中学校総合体育大会 春季大会」

◎サッカー部 優勝

◎バスケットボール部女子 準優勝

◎バスケットボール部男子 第3位

◎女子卓球

団体の部 第4位

個人戦 ベスト8 Aさん(3年生)

◎男子卓球

個人戦 準優勝 Bさん(3年生)

◎剣道

個人戦 第3位 Cさん(2年生)

「宝塚市民剣道大会 個人戦中学生男子の部 優勝」

最優秀選手賞 Cさん(2年生)

「BODY ROCK DANCE COMPETITION 2026」

Dさん(2年生)が所属する中高生5人組のダンスチーム

「THA ASTRALS GENESIS」がマニラで開催された国際ダンスコンテスト大会(6月開催)において3位を受賞しました。

「THE DAANCE SUMMIT 2026」

Eさん(3年生)が所属するダンスチーム「DTD・LIZZY」が

米国ディズニーワールド内で開催された大会(5月)において第4位を受賞しました。

■期末考査の結果を活かすために

6月に行われた期末考査の答案が手元に返却され、その点数を見て、「やった80点とれた」「平均点をとることができなかった」など、一喜一憂していることと思います。そのような光景はどこの中学校でも見られる自然なものだと思います。

さて、皆さんはその答案用紙をどのように扱うでしょうか。

①点数を見た後は、そのままカバンや机の中に放置

②とりあえずファイルに綴じて終わり

③間違えた問題をノートで解きなおす。

定期考査や実力テストは、学んだことがどれだけ定着したかを確認するためのものです。**点数良し悪しにこだわるのではなく、「何がわからなかったのか」「何を間違えたのか」を明確にし、「同じ問題で二度と間違わない」「できなかったことができるようになる」ことが大切です。**そのためにも、返却された答案用紙を見て、「わからなかった問題」や「間違えた問題」を解けるように努力することが大切です。その小さな努力の積み重ねが後々の定期考査や実力テストの結果にあらわれてきます。この機会にぜひ、定期考査の見直しを行い、「わからなかった問題」や「間違えた問題」を確実に解けるようにしていきましょう。

「山手台中学生に伝えたいこと」

事務職員 水鳥 匠悟

事務職員として先生方の給与・福利厚生・学校予算の管理・来客、電話対応等幅広く仕事をしています。先生方とは違う立場で生徒のみなさんや学校をサポートしています。

なので、今回は一人の大人として、中学生のみなさんに自分の経験したことからいくつかお伝えできたらと思います。

① 好きなこと（自分が楽しいこと）を何個か作ってみてください

例えば、「サッカーを見るのが好き」「甘いものを食べるのが好き」「家でゆっくり過ごすのが好き」など小さなことでも良いので自分の好きなことを何個か作って（見つけて）みてください。

私は小学校～大学までバスケットボールをしており、夏休みもお正月休みもないほど練習に打ち込んでいました。大学でバスケットボール部を引退した時、自分の人生の中心だったバスケットボールがなくなりこれから何をしたらよいのか悩んでしまいました。一つのことに熱中することは決して悪いことではありませんが、趣味や好きなことがたくさんあると進路選択のとき、何かつらいことがあったとき等、長い人生の味方になってくれるはずです。

② 「隣の芝生は青く見える」

この言葉を聞いたことがある人も多いと思いますが、これは「自分より他人の方が良く見えてしまう」という自分と他人を比較する心理を指す言葉です。

現在はSNS等で他人の良い部分がすぐ目に入り、嫌でも自分と比較させられます。これまでの学校生活や仕事でたくさんの人と出会って、見えていないだけでみんな何かしらの困りごとを抱えて生きているんだと思えるようになりました。ことわざになるくらい人というのは他人と比べてしまうものだから、「まずは自分の芝生を整えよう」と思えるようになってからは心が軽くなったような気がします。

③ 「仕事がはやくて一人前、やさしくて一流」

これは私が社会人一年目に見た、NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』に出演されていた方の言葉です。自分のことができて一人前、人にやさしくて一流という意味で私が好きな言葉です。

私は「やさしさ」と言うものは色々な形があると思っています。もしかしたら、家族や先生から「勉強をなさい」「片付けをなさい」等と言われるのはやさしさかも知れないですね。それを理解できる、できないで自分の受け止め方も変わってくるのではないのでしょうか。みなさんは家での生活・学校生活で自分のことができて満足していませんか？これからは家族のため、友達、先輩・後輩のために一流を目指してください。

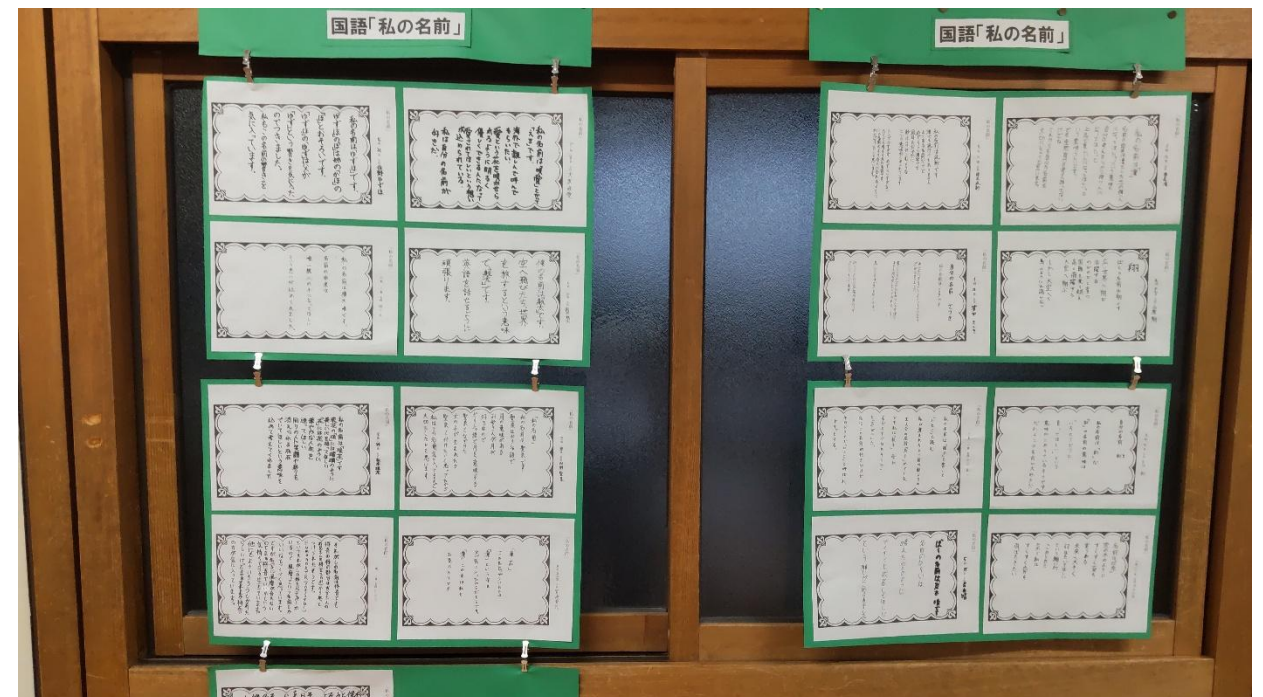
最後になりますが、私が学生時代に読んで面白かった本は『夢をかなえるゾウ』という本です。（ドラマにもなりました）図書室にもあったので良かったら読んでみてください。

長々と書きましたが、みなさんの心に少しでも残ってくれれば嬉しいです。

■国語科（２年生）の取り組み



国語科「私の名前」についてのレポート



国語科「私の名前」についてのレポート

2年生の教室前に「私の名前」についてのレポートが掲示されています。この世に生を受け、両親から授けられた名前。それぞれの名前に込められた意味と思いが伝わってくるレポートです。山手台中へお越しの際にはぜひご覧ください。（7月6日）